

【ならぬこと】

もう10年以上前に、NHK で「八重の桜」というドラマがありました。綾瀬はるかさん主演で、会津藩の武士の生活が描かれたものです。当時会津藩では「^{じゅう}什」という9歳までの子どもの集まりがあり、そこには「^{しゅう おきて}什の掟」があった、ということがこのドラマで広く知られることになりました。

- 一、年長者の言うことに背いてはなりません
- 一、年長者にはお辞儀をしなければなりません
- 一、虚言(うそ)を言うことはなりません
- 一、卑怯なふるまいをしてはなりません
- 一、弱いものをいじめてはなりません
- 一、戸外で物を食べてはなりません
- 一、戸外で婦人(おんな)と言葉を交えてはなりません



ならぬことはならぬものです

「什」ごとに多少の違いはありましたが、だいたい上記のようなものが多かったそうです。私が注目したのは、最後の「ならぬことはならぬものです」の一行です。今の言葉に直すなら、「ダメなものはダメです」というところでしょう。江戸時代の武家の子どもの掟なので、令和の現代では違和感のある項目もありますが、「これはいけません、とにかくダメなものはダメです」と言い切っているところが潔く感じます。

「什の掟」は大人が子どもに示したのではなく、子どもどうして決めていたということに驚きます。とはいえ、子どもが「なりません」と判断したのは、大人が生活の中で規範を示していたからでしょう。大人の言動を見て、子どもが「これはダメなんだな」と理解し、自分たちで掟を作るときに、理由はよくわからないながらも、ダメなものだと判断したのではないか、だから、「ならぬことはならぬものです」となったのではないかと想像します。

今の時代、「ダメなものはダメ」と大人が子どもに言えば、「頭ごなし」と批判されるかもしれません。しかし、場合によっては、〇〇するのはいけない、ダメなものはダメと、まずは規範を示し、そのあとのいろんな場面で、なぜダメなのかに気づかせていくというものがあってよいのかもしれません。

きちんと説明して納得させるに越したことはないですが、いずれにしてもやってはいけないことを大人が毅然と言い切ることは大切なことだと思います。それが子どもを守り、成長につながっていくと考え、間もなく始まる夏休みを安全かつ有意義に過ごせるようにしたいと思います。

校長 上代 婦美子

6月は学年の大きな行事がたくさんありました。写真で紹介します。

〇3年生 修学旅行 広島市内～宮島～愛媛～香川(四国水族館・琴平)



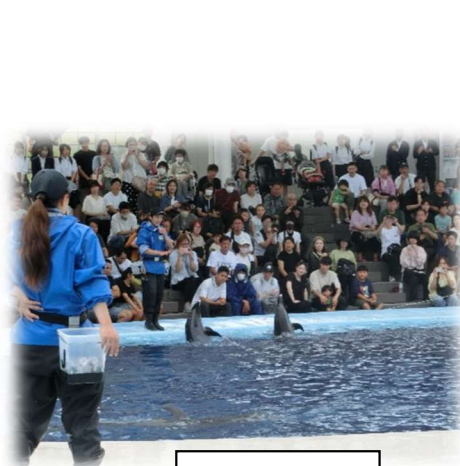
平和学習



琴平散策



宮島



四国水族館

〇2年生 職場体験

たくさんの事業所にお世話になりました。



消防署



南海電鉄



メルヘン

〇1年生 宿泊学習(貝塚市 少年自然の家)



つばめの学校✽花植え隊活動

7月の活動日時は7月12日(土)です。10時に下足室前にお集まりください。

今学期最後の活動になりますので、ぜひご参加下さい。

